

# 令和4年度 活動記録

板倉区寺野地区 地域おこし協力隊

ふくい たくや

福井 拓也

# 活動の概要

**地域**：板倉区寺野地区

**期間**：令和4年5月9日～令和7年5月8日

**内容**：①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信  
②特産品開発

# 活動計画

**母体**：寺野地区連絡協議会

**業務**：①-1 観光スポット（芝桜、アジサイ、ひまわり）の魅力アップ  
①-2 スポットに関するイベント開催、情報発信  
②-1 米、山菜、そば等の販路拡大と商品価値を高める  
②-2 米、山菜、そば等を素材にした加工品の開発

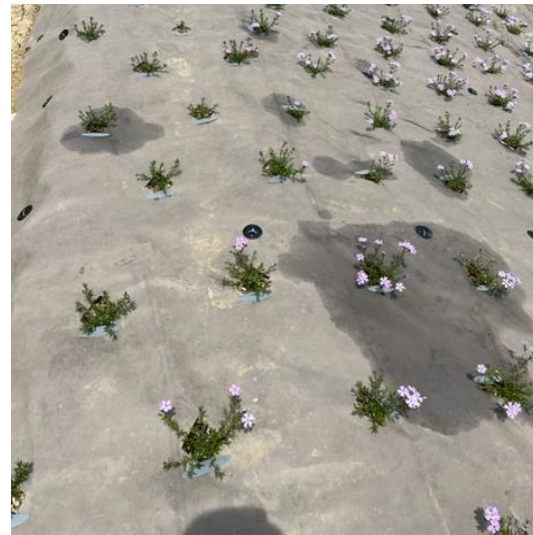
**目標**：業務を実施するための知識の習得。またその知識を情報として発信すること。顧客獲得に向けた戦略を立てること。

# 活動内容①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

- ・芝桜の雑草のとり方、アジサイの剪定、草刈機の使い方について学んだ。  
芝桜は開花期間中の雑草とりなどのお手入れ。アジサイは開花前後に合わせて4回、ひまわりは種まき時と開花時の2回、草刈りをメインに整備方法を学んだ。  
栽培方法や看板の設置については各地域団体がこれまでの活動の中で習得、実施していると感じた。  
情報発信などによる集客、作業人員の確保、財政支援について来年度は検討し取り組んでいきたい。



芝桜の雑草とり



アジサイの草刈り



ひまわり畑の草刈り

# 活動内容① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

- ・ 寺野、筒方地区のイベントへ参加。運営や販売のお手伝いをした。  
寺野は季節ごとに祭りをしてきたが、コロナなどの影響で『春まつり』のみ。ウドと焼き鳥を販売し、例年実施しているウド汁の振る舞いはなし。来年度はこれまでであった季節ごとの祭りを継続していけるよう、財政支援や開催内容の見直しをしたい。  
筒方は写真の『ふきんと祭り』の他に『新そば祭り』へ参加した。



寺野春まつり



筒方ふきんと祭り



# 活動内容① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

- ・市外、区外のイベントへも参加。運営にも携わりノウハウを学んだ。  
『新潟県地域おこしキャラバン』は県内協力隊によるイベント。自身の任地に加え、吉川区と清里区の特産品を販売。各区の地域おこし協力隊にご協力いただいた。  
『直江津鉄道まつり』では直江津駅前商店会や上越商工会と出店調整し、そばや加工品、野菜を販売。紙芝居の披露も行った。この出店をきっかけに直江津南小学校の総合学習に参加し、『きらきら互の市』の開催につながった。当イベントは板倉、牧、清里、吉川区の協力隊が参加した。  
『いつものもしもキャラバン』は無印良品と筒方地区のそば組合との出店調整を実施。



新潟県地域おこしキャラバン



直江津鉄道まつり



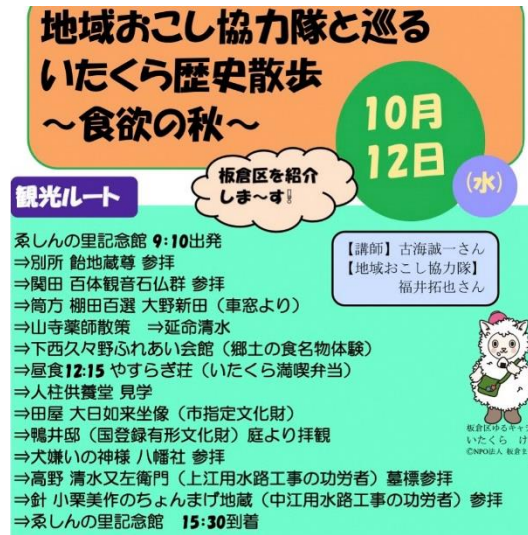
いつものもしもキャラバン

# 活動内容① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

- ・自身で企画運営したイベントも開催。  
 『板倉フリーマーケット』は9月開催が雨天中止となり、10月に再度開催。主催はゑしんの里観光公社、後援を上越市に依頼。開催予算はなかったため、出店料で賄える範囲で企画。300人ほど来場。  
 『いたくら歴史散歩』は板倉地区公民館事業として実施。申込開始3日目で定員の20名に達し、参加者にも好評だった。郷土料理体験ややすらぎ荘での昼食について地元の方と調整を行った。  
 『てらのお茶のみ』は25人参加。他にもやすらぎ荘にて出張サロンを、社会福祉協議会と板倉まちづくり振興会との共催で実施。10人参加。



板倉フリーマーケット



いたくら歴史散歩



てらのお茶のみ



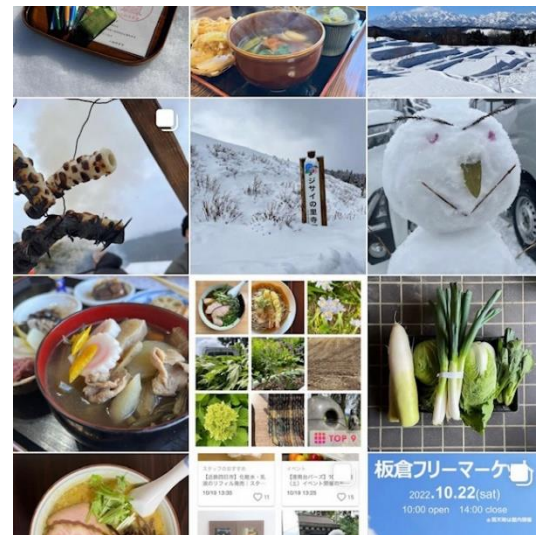


# 活動内容① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

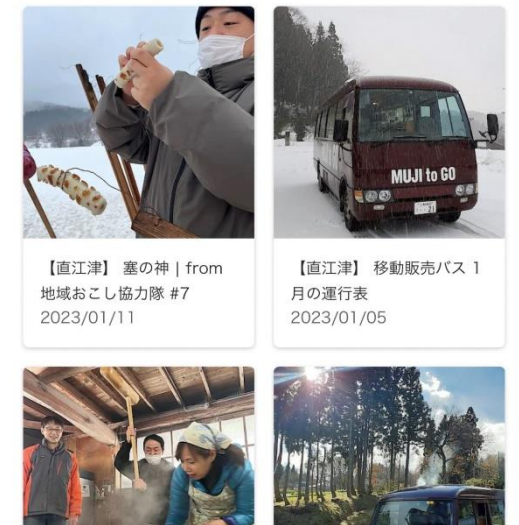
- ・任期開始時にInstagramアカウント開設。不定期投稿ながらフォロワー455人。来年度は定期配信を継続しフォロワーを増やしたい（目標2,000人）。イベント開催時の告知も当アカウントで実施していく。  
また、無印良品アプリ『MUJI passport』で10月から月2回の頻度で配信。各配信に50~90カウントほどのいいね数があった。Instagramとは別の層へのアプローチを想定しており、今後も継続していきたい。



Instagramアカウント



MUJI passport





## 活動内容②特産品開発

- ・地元加工グループ『寺野いろりばた』の活動へ参加。加工品製造や販売のお手伝いをした。地区では人気があり商品力も高いが、高齢化の影響で活動継続が不安な面もある。また活動資金の確保も課題。まずは活動を安定させるためその2点の改善したい。来年度は郷土料理教室を開き、地区外の人材の掘り起こしをねらう。  
その他にもちまき作りやよもぎこきなど特産品となる可能性があるものについて体験した。また、東京と上越市高田に拠点をもち、主にイベントでの販売を行う『むつみ健康商店』と酵素シロップの開発を計画。来年度に『板倉シロップ』として販売予定。



寺野いろりばた



いたくら特産品販売



板倉小学校ちまき作り



よもぎこき

# 1年間を振り返って

## 知識の習得

- ・寺野地区だけでなく板倉区全域で多くの情報を得ることが出来た。個人や団体もたくさんの方と知り合い、さらにイベントの企画運営などを協力して行うことで関係性を深めることが出来た。
- ・地区内では町内会長や各団体の代表者それぞれと月1回ほど意見交換を行った。ただ、活動にあまり参加しない若者や女性との意見交換が少なかった。地区内にも拠点を設けたり、お茶のみ会などを開いて意識的に交流をはかりたい。
- ・地域資源もたくさん知れたし、みなさんが現状どう考えているのかも知ることができた。

## 情報の発信

- ・Instagramアカウントを立ち上げ日常の風景などを発信した。最近ではコメントのつく投稿もあり、少しずつ手ごたえを感じている。来年度はなるべく定期的な配信を続けてさらに影響力を高めたい。
- ・無印アプリでの発信も様々な人に地区や活動について知ってもらうために継続していきたい。
- ・新聞などメディアにも多く掲載いただいた。こちらからの情報提供の方法も把握したので、来年度も出来る限り多く露出して、地区や協力隊の取り組みについてアピールしていきたい。

## 顧客獲得の戦略

- ・様々なイベントへの出店により購買傾向が感覚的にではあるが分かってきた。
- ・地元へも少しずつ自分の考えが反映出来るようになってきたので、来年度は販売価格やパッケージ、デザインなどの変更を提案していきたい。

## 令和5年度の活動内容

- 業務：** ①-1 観光スポット（芝桜、アジサイ、ひまわり）の魅力アップ  
①-2 スポットに関するイベント開催、情報発信  
②-1 米、山菜、そば等の販路拡大と商品価値を高める  
②-2 米、山菜、そば等を素材にした加工品の開発

**目標：** 習得した知識をもとに方策を地域へ提案する。発信、行動する。  
地元グループと連携して特産品開発を探る。

**観光・体験イベントを開催し①情報発信②人員確保③財政支援に取り組む。  
地域資源の掘り起こしや、新たな組み合わせにより価値を創出する。  
地域の祭りのような伝統行事を継承し、住む人が誇れる地域を残す。**